

## シグマ研究委員会核データ専門部会

### 融合炉核データWorking Group 第1回会合議事録

日 時：昭和49年8月20日(火) 13:30~17:20

場 所：原研東海研研究2棟222号室

出席者：関 泰(原研)，村田徹(NAIG)，小林捷平(京大原子炉)，  
更田豊治郎(原研)，西村和明(原研)，北沢日出男(東工大)，  
伊東新一(日立原研)，伊尾木公裕(三菱原子力)，田中茂也(原研)

欠席者：浅見明(原研)，神田幸則(九大工)

配布資料 1. Japanese Nuclear Data Committee and Nuclear Data  
Laboratory of JAERI

2. Nuclear Cross-Section Requirements for Fusion  
Reactors by Crocker et al. CN-26/98 Helsinki  
Conf.(1970)

3. Problems of Measuring Nuclear Constants for  
Thermonuclear Reactors by Kuzmin et al. Translated  
by H.J. Dahlby INDC(ccp) -37/U(1973)

4. 核融合炉ブランケット核計算の立場から

ENDF/Bに対する要請：関 泰

#### 議 事

1. 各人から専門分野，研究歴などを含む自己紹介があった。
2. 融合炉核データW.G. 誕生までの経過と当W.G. のシグマ委員会内における位置づけについて説明があった。(後者については資料1.参照)

#### 3. 作業計画

当W.G. は融合炉開発のために必要とされる核データを整備することを目的としている。短期の目標としては，2年間位でいくつかの重要な核データについて評価作業を完成する。

また核融合炉調査研究委員会（主査：吹田氏）から提出される Japanese CTR Nuclear Data Request List のための素材を Screen する。

（この作業形態，作業内容については現在のところ具体化されていないが何らかの形で作業に関与することになることはいえる。）

北沢氏から，この List の完成を待ってから評価作業に取りかかるのでは遅すぎるという意見があり，皆同意見であった。

W.G. の会合は当分の間 2 ヶ月に 1 度程度，東海と東京で交互に開催する。その際，適当な講師による勉強会を持つ。

4. 勉強会の一つとして，「Blanket 用核データ」に関して関氏による講演が行なわれた。トカマク型のブランケットを中心に，トリチウム増殖，熱変換，超電導体に対するシールドの見地から重要な核データが挙げられた。
5. 宿題として，各人が興味のある評価作業の対象，（核種・反応の種類，エネルギー範囲など）を考えて来ることにした。

次回予定：10月28日（月） 東京

- 1) 勉強会として講演（講師未定）
- 2) Japanese CTR Nuclear Data Request List 素材の紹介
- 3) 評価作業対象の選択
- 4) 作業の進め方
- 5) その他